

すなごはたしおどり

砂子畑鹿踊

指定種別：市指定文化財

指 定 日：平成 29 年 3 月 29 日

所 在 地：釜石市栗林町

保持団体：砂子畑鹿踊保存会

開 始：元禄年間(1688～1703)

公開機会：丹内神社例大祭、
釜石市郷土芸能祭等



砂子畑鹿踊は、約 330 年前、元禄年間(1688～1703)に栗林町沢田に住みついた房州出身の唯喜伝治から砂子畑の若者が教えられたのが始まりです。

同じく唯喜伝治に教わった沢田鹿踊や神ノ沢鹿踊、大槌在の鹿踊と大筋ではいずれも同じですが、唄の文句や踊り方を少しずつ変えて教えたといわれています。また、長い年月の間に変わってきたこともあるかもしれません。

のちに砂子畑鹿踊は、水海や外山、田郷に指導し、各地区で鹿踊が継承されています。

